

# 防災チェック・ワンポイント

いつ、どこに、どうやって避難したらいいの？

防災対策特別委員会

6月18日深夜、震度6強の大地震が新潟地方で発生。

本町ではこの日、防災無線で全国瞬時警報システム（Jアラート）の防災訓練が行われた、まさにその日の夜の出来事でした。

このように突然発生する災害は決して他人事ではありません。私たちは常に災害と背中合わせなのです。



「避難する」とは、あなたの住環境では、具体的にはどのように行動することでしょうか？災害の種類・状況によって、臨機応変な行動が必要です。地域での防災訓練等を通して避難路、危険場所の確認、非常用袋の中身の点検等、今出来ることは知識ばかりでなく、どうか速やかに実行に移して有事に備えていただくことを希求いたします。

自分の命は自分で守り、また自分に余裕が持てないと判断も誤り、周囲への気配りも困難となります。

この度は「警戒レベル」で避難のタイミングをお伝えします。

## 警戒レベル 4 で全員避難 !!

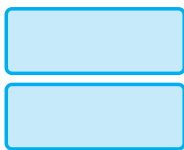


警戒レベル  
1



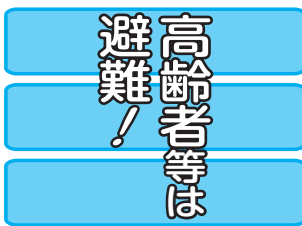
心構えを  
高める  
(気象庁が発表)

警戒レベル  
2



避難行動の  
確認  
(気象庁が発表)

警戒レベル  
3



避難に時間を  
要する人は避難  
(市町村が発令)

警戒レベル  
4



安全な場所へ  
避難  
(市町村が発令)

[警戒レベル 5] (市町村発令) は既に災害が発生している状況です。



6月4日に安下庄小中学校合同避難訓練が行われました。

授業中に南海トラフ巨大地震の津波が発生したと想定し、安下庄中学校前で合流し、中学生が低学年の児童を誘導し、一時避難場所となる高台へ避難しました。

誰一人として私語をすることなく、真剣に取り組んでいました。